

セキュリティ啓発 WG

株式会社インフォセック 松本 照吾

セキュリティ啓発 WG では、主に経済産業省の委託事業としてスタートしました「インターネット安全教室」の運営を通じて、広く民間への情報セキュリティの普及啓発活動を行っています。

■「インターネット安全教室」とは

家庭や学校からインターネットにアクセスする一般の利用者を対象に、情報セキュリティに関する基礎知識を学習できるセミナーとして全国各地の関係団体等と協力して実施しています。



<インターネット安全教室トップページ>
<http://www.net-anzen.go.jp/>

2013 年度の「インターネット安全教室」の開催数は全国で 118 回、参加者は約 7000 名におよびました。多くは JNSA に協力頂いている地域の共催団体(NPO・団体・大学・自治体等)の皆様が講師となって、普及啓発活動を行っていただいています。

■ WG の活動

セキュリティ啓発 WG は次のような活動をしています。

・「インターネット安全教室」の運営や教材作成

年に数回の WG の集まりでは、「インターネット安全教室」の教材の見直しや追加コンテンツの作成を討議しています。また、未開催地域での開催調整などをメンバーで手分けをしながら進めています。さらに、「講師トレーニング」を定期的に開催し、「インターネット安全教室」の講師となる共催団体の皆様のスキルアップに貢献しています。

2013 年度の活動では、新教材として「みんなで守って 安全・安心スマホ 8 か条」のリーフレットを作成しました。また、安全教室の講師向けとして、スマホアプリやソーシャルメディアに関する啓発のポイントを講師用の教材としてまとめています。



JNSA ワーキンググループ紹介

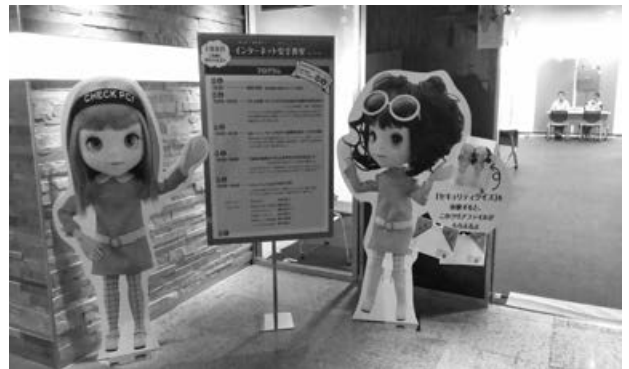
・「インターネット安全教室」の派遣講師や裏方

初回開催や地域の共催団体の皆様で講師を行うことが困難な場合等、派遣講師として安全教室を実際に行います。また、講師だけではなく、JNSAの事務局と連携して、会場設営や運営などのスタッフ業務を行っています。

・全国連絡会議やシンポジウムの運営

年に2回、地域の共催団体の皆様と全国連絡会議を開催しています。JNSAへの期待や新しい教材の紹介などとともに全国の団体の皆様と親睦を深めています。

また、2013年3月には、経済産業省のCheck PC!のマスコットキャラクター、伝説のゆるキャラ(?)であるセキュリーナのせなちゃん、しなちゃん司会のもと、スカイツリーのソラマチでシンポジウムを開催いたしました。



■ 参加することのメリット

JNSAの会員企業の皆様の中には、情報セキュリティのプロフェッショナルとして、「企業向け」「官公庁向け」のサービスやプロダクトを提供する方も多いかもかもしれません。プロフェッショナルであるが故に、時として、「普通の人の目線」を見失ってしまうこともあるかと思えます。つつい専門用語を使って話している、自分の話が理解できないのは相手の努力が足りないと思ってしまう etc……

本WGの活動では、一般の皆さんに対する啓発活動を通じて、私たちセキュリティのプロフェッショナルが忘れてはいけない“相手の目線にたって、考え、ものを話す”という基本に立ち返ることを教えてくれます。もし、本記事を読んで、「自分も参加したい」「他にもこんな普及啓発のやり方があるのでは」と思われた方がいらっしやいましたら、お気軽にお声掛けください。

<セキュリティ啓発WGメンバー一覧>

氏名	社名
リーダー 松本 照吾	株式会社インフォセック
橋本 高明	株式会社アイディトラスト
菅野 泰彦	アルプス システム インテグレーション株式会社
谷 卓	株式会社インテック
木村 福夫	株式会社 AIR
大財 健治	株式会社 KKC 情報システム
山田 英史	株式会社ディアイティ
守屋 英一	日本アイ・ビー・エム株式会社
本川 祐治	株式会社日立システムズ
嶋倉 文裕	富士通関西中部ネットテック株式会社
富田 高樹	みずほ情報総研株式会社
丸山 司郎	株式会社ラック